

PRESS RELEASE

2020年11月13日

報道関係者 各位

トヨタ自動車株式会社
株式会社 LIXIL**<トヨタとLIXILが共生社会に貢献>
車いすでの外出の可能性を広げる
移動型バリアフリートイレ「モバイルトイレ」を共同開発**

トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長：豊田 章男、以下「トヨタ」）と株式会社 LIXIL（本社：東京都江東区、代表取締役社長：瀬戸 欣哉、以下「LIXIL」）は、このたび、車いす使用者が外出先で安心して使える移動型バリアフリートイレ「モバイルトイレ」を共同開発しました。



近年、公共施設では車いす使用者を含めたさまざまな身体状況の方が利用できる多機能トイレの整備が進んでいますが、未だ十分とは言えないのが現状です。

この問題に対し、モビリティカンパニーを目指すトヨタとトイレやバリアフリーに知見をもつ LIXIL の両者の強みを生かして開発したのが、移動型バリアフリートイレ「モバイルトイレ」です。快適・衛生的な多機能トイレを車両に搭載し、けん引により自由に移動して設置することで、各種イベント参加やスポーツ観戦など、車いす使用者の外出の可能性を広げます。

車両の前後方には遠くから認識できるよう大きな多機能トイレマークを配置し、超低床車体の設計によって、出入口への動線はなだらかなスロープを実現しています。車内は車いすが回転しやすい空間を確保し、手すりの備わった大便器など車いす使用者にとって必要な機能を兼ね備えています。また、多目的に使えるユニバーサルシート（大型ベッド）や車いす使用者がより快適にトイレを利用するために、自分で衣服を整えたり介助者が待機できる前室を用意しています。

開発するにあたって、パラアスリートや福祉工学の専門家、被災経験のある自治体関係者、さまざまな理由で車いすを使用することになった方にヒアリングを実施しました。「介助者の手を借りずに一人で乗り込みたい」「上半身が元気それでも、オムツ替えが必要な場合がある」「気分が悪い時に、横になれると有難い」などの声をお聞きすることができました。

今後はモバイルトイレをさまざまなイベントの場などに出展し、車いす使用者や介護する方々から頂いた声を参考に、車体の改善に活かしていきます。トヨタと LIXIL は、障がいの有無にかかわらず、誰もが行きたい場所に行き、やりたいことに挑戦できる社会の実現に貢献していきます。

なお、「モバイルトイレ」は、2020年11月21日（土）22日（日）に横浜市北仲通地区で行われる「横浜北仲フェス」で横浜市役所敷地内に設置し、実際に使用される予定です。

【参考資料】

■モバイルトイレについて



車両	全長×全幅×最高地上高	約L5300×W2500×H2900mm トイレの広さ：L2000×W1980 前室の広さ：L1650×W1980
	総重量	2.3t
	乗り口地上高	250mm
	走行性	けん引式 (今回のけん引車両はランドクルーザープラド)
	スロープ長さ(角度)	4700mm(3°)
	電力	バッテリー、ソーラーパネル(非常用)
トイレ機能	給排水容量	各200リットル
	連続使用回数	約30回
	洗浄方法	水洗式
	搭載衛生機器	大便器1、手洗い2、オストメイト対応流し1
その他搭載機能	搭載デジタル窓	40インチ
	ユニバーサルシート(大型ベッド)	(開時) W1500×D696×H480mm
	全身鏡・鏡台	—
	使用中表示	室内の人感センサーと連動し、 使用中(赤)、空室(青)と表示